

# 令和元年度 鑑石園ショートステイ 事業報告書

## 1. 事業運営の概況

特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターと連携して、レクリエーションとリハビリテーションの充実に努め、利用者に楽しく過ごしていただけるよう工夫した。

稼働率向上を目標に毎月各居宅介護事業所に空き情報を送付すると共に、各種研修に参加し、他事業所のケアマネジャーとのコミュニケーションを図った。

衛生管理対策として、手洗い、うがいを励行し感染症予防に努めた。

## 2. 事業計画実施状況

### (1) サービスの充実

- ① 新規利用者受入れの際は、相談員が作成したアセスメントを基に、ショートステイおよび特別養護老人ホームの全職員に対し利用者本人の状況を周知し、提供するサービスについて、事前に検討を行った。
- ② 利用者・家族・担当ケアマネジャーと話し合い、個々の利用者について作成したケアプランに基づき、家族と利用者本人が満足できるサービスの提供に努めた。
- ③ ショートステイ利用中に起きた事故については、ただちに家族に連絡し、事故の詳細と怪我の有無、受診の可否等についてわかりやすく説明すると共に謝罪し、誠意のある対応を心掛けた。
- ④ 家族の都合により定時の送迎時間で伺えない時は、職員配置を工夫し希望の時間に送迎を行えるよう努めた。
- ⑤ 家族との信頼関係を築くため、送迎時に家族との会話を心掛けた。入所時には、利用者の心身の状態等を伺い、退所時には、利用中の様子を報告した。また家族の負担を考慮し、退所時には衣類を洗濯して、きれいな状態での返却に努めた。
- ⑥ 職員教育の一環として、特別養護老人ホームが行う内部研修に積極的に参加し、職員資質の向上を図った。
- ⑦ 利用者の身体状況に合わせてベッドの配置を決め、夜間帯にはフックコールを設置する等、安全対策に努めた。また、施設職員、看護職員と連携し、見守りの強化を図った。

## (2) 稼働率の確保および維持

- ① 目標稼働率72%を目指し、各居宅介護支援事業所に空き情報を提供し、積極的に営業活動を行った。
- ② 空床時には緊急利用にも対応できるよう、家族とのコミュニケーションを重視し、臨機応変な対応を心掛けた。
- ③ 新規利用者の増加及び利用日程の調整により、利用者述べ人数2,110人、平均稼働率72.1%と前年度比8.5%のプラスとなった。

## (3) 機能訓練、レクリエーションの充実

- ① 利用者の希望が多い、調理レクを行うことが出来た。
- ② 手作業を中心としたリハビリテーションを行い、作品を展示する等、達成感を味わうことができるよう工夫した。実施したリハビリテーションについては、機能訓練記録・作業記録簿に詳細を記入した。

令和元年度に参加した行事については次の通り

4月	花見会・外食
5月	中央公園散策(バラ鑑賞)・フルーツバイキング
6月	中央公園散策(アジサイ鑑賞)・調理レク(たこ焼き)
7月	かき氷
8月	納涼祭・流しそうめん・調理レク(アイスクリーム)
9月	敬老会
10月	外出(福祉展)・お寿司出前
11月	焼き芋
12月	クリスマス会
1月	調理レク(たこ焼き)

## (4) 衛生管理

- ① 感染症を予防するため、シーツ交換時にベッド周りの消毒を行い、ベッドマットレスのダニ対策を実施した。また、毎週1回食器類の消毒を実施した。

- ② 感冒症状のある利用者に対しては、居室の配置等の調整をする事で感染防止に努めた。
- ③ 疥癬に感染された利用者に対しては、適切な対応を行い、感染拡大を防ぐことが出来た。